

水道テクニカルサービス株式会社

神奈川県横浜市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

国内で培った豊富な実務経験と確かな技術で、アジア地域の節水に貢献

- 途上国特有の状況にも対応した漏水調査で成果をあげ、顧客からは技術力を高く評価されている
- 小規模企業であるが、海外展開時には職員の適性を見極めた人材配置を実施。海外適応力の高い人材を雇用
- 簡便に取り扱える漏水探知器を開発し、大幅なコストダウンや業務効率化を達成

企業基本情報

所在地	神奈川県横浜市旭区二俣川 1-45-45 大高ビル 3階
電話/FAX	045-360-9220/045-360-9221
URL	http://www.suidou-tec.co.jp/
代表者	代表取締役 大島 健司
設立	2002年
資本金	400万円
従業員数	10人



会社概要

水道事業体や学校給水施設をはじめとする各種公共施設に対する漏水調査を主業務とすると共に、同業他社と共同開発した常設型自動漏水監視装置（製品名：L-sign）による新たな漏水調査システムを開発。また、日本の地方自治体をビジネスの対象として長年培ってきた実務経験や技術をもとに途上国（ベトナム国・インド国）での無収水率の削減と人材育成に貢献すべく取り組んでいる。



開発製品と発見漏水

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 途上国の特有の状況にも対応し、顧客は技術力を高く評価

JICA 中小企業海外展開支援事業を受託し、漏水率が高く慢性的な水不足に悩むインドで L-sign を活用した漏水調査の有効性を調査し、バンガロール市上下水道局より技術力を評価され、新たに漏水調査人材育成事業の契約を締結。また、ベトナムでは、横浜市が JICA から受託したフエ市水道公社での事業に参画し、L-sign を活用した新たな漏水調査技術が評価され同公社と覚書を締結、漏水に悩む他都市の要請により同公社と共同で技術トレーニングを実施。途上国の無収水率の削減と人材育成に貢献している。



覚書の締結

▶▶▶ 小規模企業であるが、海外展開時には適応力の高い人材を雇用

海外展開の初期段階は、今まで国内業務に従事していた 10 名の従業員の中から短期間海外に派遣し、その適性に依じて長期滞在での業務を割り当てるなどし、インドやベトナムで調査の実績を積ませた。あわせて、海外への適応力が高く即戦力となる JICA 青年海外協力隊経験者を採用し、社内の海外展開に向けた体制を重層的に構築している。海外でのビジネス展開に際しては、ジェットロ専門家の支援を得るなどし、同社では抱えることのできない人材の補強を図っている。



海外担当による展示会出展

▶▶▶ 漏水探知器を開発し、大幅なコストダウンや業務効率化を達成

専門的な技術が必要とされ属人性が高い従来の漏水調査手法を改善すべく、新しい漏水調査機器「L-sign」を他社と共同で開発。「L-sign」は、漏水の発生管路を効率的に絞り込むことができ、調査期間の短縮やコスト削減等大幅な業務効率化につながっている。また、インドは 24 時間給水ではない、低水圧などの制約があり、漏水調査の実施が難しいといわれているが、「L-sign」は、状況に応じた設定が可能であり、途上国特有の課題に柔軟に対応ができる点も特徴である。



大幅な業務効率化を図ることができる漏水調査機器「L-sign」